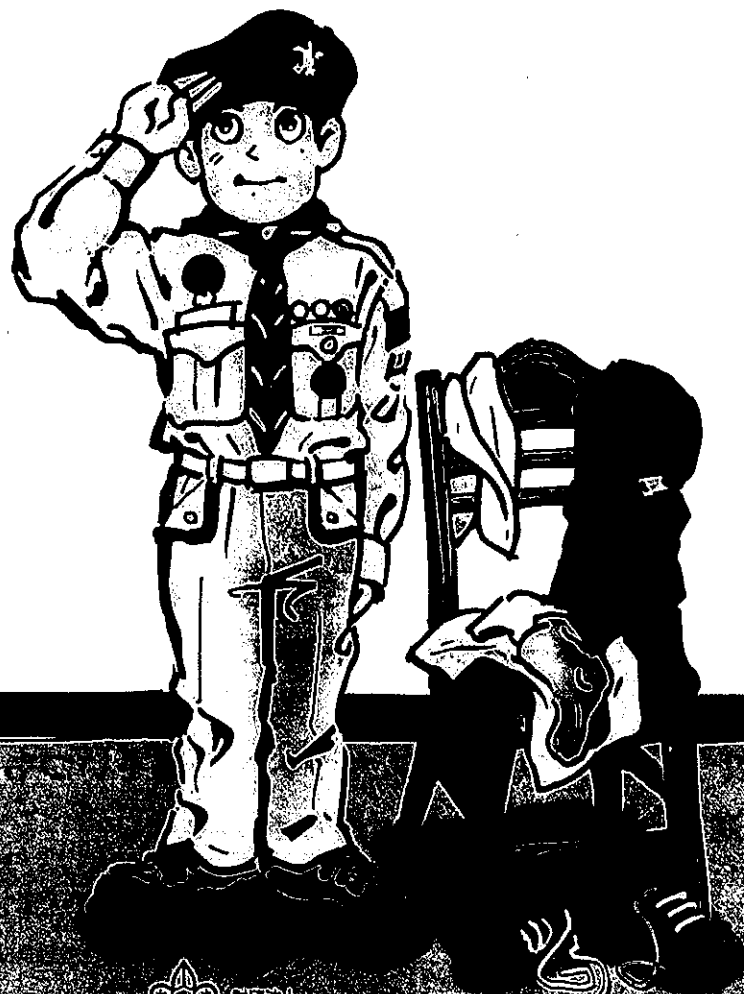


# 上進章 ハンドブック



日本  
ボーイスカウト日本連盟

4 931187 615007  
税込 ¥210

## くまスカウトのみなさん

みなさんは、カブスカウトになかま入りをして、たくさんのかりをしてきました。くまスカウトとして組長や次長の役目もしっかりやっていますね。5年生になった今、あこがれのボーイスカウトへの旅立ちの日がそこまできています。

旅をするには準備が大切ですね。そこで、くまスカウトの仲間だけで特別な準備をするための「上進章集会」に参加しましょう。

上進章集会は月に1~2回開かれます。もちろん、今までと同じようにカブスカウトの集会にも参加してください。いままでどおり、チャレンジ章にもチャレンジできます。

くまスカウトだけが参加できる<sup>めいよ</sup>名誉な上進章集会に参加して、ボーイスカウト隊のことをいろいろと体験しましょう。

さあ!! みんなでボーイスカウトへの道をいつも元気に進み、全員そろって上進しましょう。

「からだでおぼえたものは・・・はなれない」

サトウハチロー

手でおぼえる  
足でさとる  
目にやきつける  
胸にしみこます

ボーイスカウトの仕事は  
すべてこれだ これなんだ

水くみひとつにも  
上手下手がある  
米をとぐのも  
めしをたくのも  
玉ねぎをきざむのも  
ジャガ芋<sup>いも</sup>の皮をむくのも  
遊び半分では  
できない できない

なれない仕事で  
涙ぐむと  
母の顔が浮かぶ  
力のいる仕事で  
へたばると  
父の笑顔が見える

われとわが身を  
はげましても  
情けなさがあふれてきて  
あたりの風景に  
もやをかける  
のりこえろ のりこえろ  
からだでおぼえたものは  
からだからはなれない  
はなれない

手でおぼえる  
足でさとる  
目にやきつける  
胸にしみこます

満足に  
つとめを果たした夜の  
キャンプファイヤーの  
火はすばらしい  
静かにじっと<sup>なが</sup>眺めていると  
さわやかな  
ほんとうに さわやかな虫の聲が  
首にしみこむ 背中にしみ通る

## — 名も知れぬ兵士の善行 —

この話は1951年、三島通陽第四代総長が世界会議に出席の帰途アメリカ連盟の本部を訪ねて、シャック博士（アメリカ連盟総局長）から聞いた話です。

1952年には日本のボーイスカウト運動の視察にこられたフィンネルさんも話していました。

太平洋戦争も終わりに近づいた頃、南太平洋の小さな島で起こった実話です。日本とアメリカの兵隊が大決戦をくり返していた時の話です。一人のアメリカの兵が重症を負って倒れていた時、人の足音に気がついて目を開くとそこに一人の日本兵が剣付鉄砲をもって突っ込んでくるのが見えました。重症で動けないアメリカ兵は殺されるかと思ったまま目を閉じて気を失ってしまいました。しばらくして気がつくとう日本兵はおらず、そばに小さな紙切れがおいてありました。助けられ、たんかで病院に運ばれた時、さっきの紙切れを思い出して「ペーパー、ペーパー」と言ってドクターに渡しました。そこには「私は君を殺そうとした日本兵だ、君が三指の礼をしているのを見て、私も子どもの頃スカウトだったことを思い出した。ボーイスカウトは兄弟だ、それに戦えなくなった人を殺すことは許されない、傷は応急手当をしておいたよ、グッド・ラック」と書いてありました。

この重症のアメリカ兵は無事アメリカへ帰り、お父さんとアメリカ連盟を訪ねこの話をして献金をして帰ったそうです。

三島総長は日本に帰りこの兵士を捜しましたがいまだに見つかっていません。きっと戦死したのでしょう。しかし、この無名戦士の話は長く伝えられアンノウン・ソルジャーとして神奈川県「こどもの国」に記念碑が建てられています。



## 〈目次〉

くまスカウトのみなさん	2
「からだでおぼえたものは…はなれない」	3
名も知れぬ兵士の善行	4
アンノウンスカウト物語	6
永遠のスカウト	7
ちかいとおきて	8
敬礼	10
スカウトサイン	10
モットー	11
スローガン	11
握手	11
スカウト章	12
なわ結び	14
体を使った測量	16
笛の合図	16
身ぶり信号	17
日本の国旗	18
健康と安全	20
上進章課目	21
カブ隊隊長からのメッセージ	22
ボーイ隊隊長からのメッセージ	22

## アンノウンスカウト物語 —名も知れぬスカウトの善行—

1909年の秋のことでした。イギリスの都、ロンドンは、この日も一日中濃い霧につつまれていました。

アメリカのイリノイ州シカゴからロンドンにきた出版業のウィリアム・ボイス氏は、道がわからなくて、こまりはてていました。そのとき霧の中からひとりの少年が近づいてきました。「何かお役に立つことがありますか。」と少年はいいました。事務所がわからなくて困っていることがわかると、少年は先にたって、その事務所までボイス氏を案内しました。

ボイス氏は、アメリカ人の習慣で、少年にチップをあげようと、ポケットに手を入れました。しかしボイス氏がチップを取り出す前に、少年は勢いよく右手を上げて敬礼をしました。「ぼくはボーイスカウトです。きょうも何かよいことをするつもりでいました。お役にたててうれしいと思います。スカウトは、他の人を助けることでお礼はもらいません。」と少年はいいました。少年からボーイスカウトのことを聞いたボイス氏は、用事をすませてから、少年にボーイスカウトの本部を案内してもらいました。ボイス氏が少年の名前を聞く前に、少年は姿を消してしまいました。



イギリスの本部でボーイスカウトのことをくわしく調べたボイス氏は、アメリカへ帰って大統領のタフト氏などに話し、やがて、アメリカでボーイスカウト運動が始められたのです。そのときの少年がだれだったのか、その後もわかりませんでした。しかし、名前もわからないこの少年の小さな善行が、アメリカのたくさんの少年に、ボーイスカウトを伝える元になったのです。

## 永遠のスカウト (Once a Scout, always a Scout)

中村 知 作詞  
作曲

Andantino maestoso

F C F B<sup>b</sup> F Gm C

1. ひ と た ー び ス カ ウ ト に ち  
2. ひ と た ー び ス カ ウ ト に ち  
3. ひ と た ー び ス カ ウ ト に ち  
4. こ の よ ー の ス カ ウ ト に い

F B<sup>b</sup> F B<sup>b</sup> F

か い を た て ー て な り し み は い  
か い を た て ー て な り し み は い  
か い を た て ー て な り し み は い  
し の ち さ さ げ ー て つ か え な ば し

B<sup>b</sup> F B<sup>b</sup> C F C F

つ も い つ も ス カ ウ ト だ  
ま の い ま も ス カ カ ウ ト だ  
ぬ と き ま ち で ス カ カ ウ ト だ  
し て の ち も ス カ カ ウ ト だ

- 一度スカウトに  
ちかいをたててなりし身は  
いつもいつもスカウトだ
- 一度スカウトに  
ちかいをたててなりし身は  
いまのいまでもスカウトだ
- 一度スカウトに  
ちかいをたててなりし身は  
死ぬときまでスカウトだ
- この世のスカウトに  
命捧げてつかえなば  
死して後もスカウトだ

(注) これはベーデン-パウエル卿と親交があり、かつ協働者として有名なキッチンナー元帥の名句“Once a Scout, always a Scout”を歌によって説明する意図で1948年に作った。(作者)

## ちかいとおきて

### ちかい

これからみなさんが身につける知識や技能は、ボーイスカウトのちかいを実行することによって役立ちます。実行することにより、ちかいはほんとうにあなた自身のものとして身につくことになります。

私は、名誉にかけて、次の3条の実行をちかいます。

- 1、神（仏）と国とに誠を尽くしおきてを守ります。
- 1、いつも、他の人々をたすけます。
- 1、からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。



### おきて

おきてではスカウトとしての行動のものさしともいえます。努力をつみかさねることによって、スカウトらしい人として信用される人間になれるのです。

1. スカウトは誠実である  
スカウトは、信頼される人になります。  
真心をこめて、自分のつとめを果たし、名誉を保つ努力をします。
2. スカウトは友情にあつい  
スカウトは、きょうだいとして仲よく助け合います。  
すべての人を友とし、相手の立場や、考え方を尊重し、思いやりのある人になります。
3. スカウトは礼儀正しい  
スカウトは、規律正しい生活をし、目上の人を敬います。  
言葉づかいや服装に気をつけ、行いを正しくします。
4. スカウトは親切である  
スカウトは、すべての人の力になります。  
幼いもの、年寄り、体の不自由な人をいたわり、動植物にもやさしくします。
5. スカウトは快活である  
スカウトは、明るく、朗らかに、いつも笑顔でいます。  
不平不満を言わず、元気よく、進んでものごとを行います。
6. スカウトは質素である  
スカウトは、物や時間を大切にします。  
むだをはぶき、ぜいたくをせず、役立つものは活用します。
7. スカウトは勇敢である  
スカウトは、勇気をもって、正しく行動します。  
どんな困難なことがあってもくじけずに、新しい道をきり開きます。
8. スカウトは感謝の心をもつ  
スカウトは、信仰をあつくし、自然と社会の恵みに感謝します。  
お礼の心で、自然をいつくしみ、社会に奉仕します。

## ☆敬礼



スカウトの敬礼は、敬意、礼儀、親しみを表します。国旗掲揚のときやスカウトどうしであいさつをするときに使います。

敬礼はきびきびとした動作であることが大切で、帽子をかぶっていない時は30度ぐらい上体を前に曲げておじぎをします。

## ☆スカウトサイン



左の図のように、右の手で3本指を作り、腕は横に肩と水平に上げひじを曲げてまっすぐ上にのぼします。

「私はスカウトであります」という仲間のしるしで、

- ①ちかいをするとき
- ②ちかいやおきてをとなえるときに行います。

## ☆モットー

そなえよつねに (備えよ常に)

ビー フリベアード  
[Be Prepared]

世界共通の標語です。

いつでも、どこでも、どんなことにも困らないように、人のためにも自分のためにも、準備をしておこうということです。

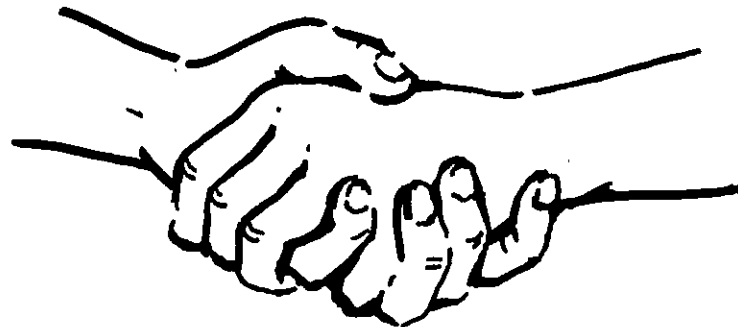
## ☆スローガン

日日の善行

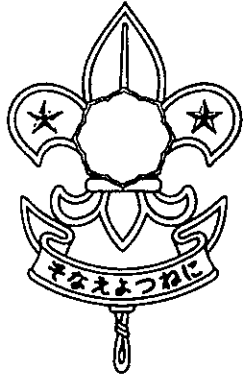
スカウトは、毎日進んで何かよいことをします。

## ☆握手

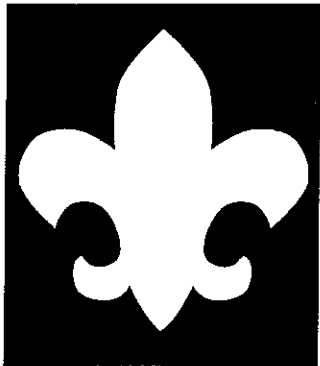
カブスカウトの握手は右手でしましたが、ボーイスカウトは左手でします。これは全世界共通の挨拶の仕方です。



## スカウト章

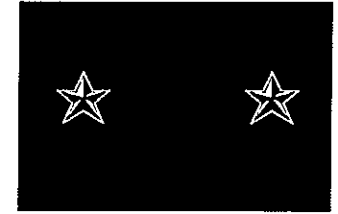


左の図は、日本のボーイスカウトの記章です。全体の形は、世界各国ともだいたい同じですが、国によって少しずつ変わっています。スカウト章は、ちかいとおきてにもとづく、友情と良い社会人を表すスカウト仲間のしるしです。名誉を<sup>めいよ</sup>けがすことのないように、みだりに使ってははいけません。



全体の形は、ゆりの花の形をしています。これはむかしの航海者が使っていたコンパスの<sup>じしん</sup>磁針の北をさす部分の形からとったものです。またコンパスが正しい方角をいつでも示すように、スカウトも正しい人生を進みます。そして、ゆりは愛を表し、スカウトのサインと同じようにスカウトの三つのちかいの意味も表しています。

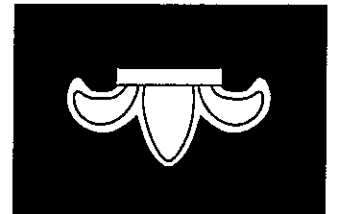
二つの星は、スカウト運動の理想である心理と知識を表し、物事を正しくみきわめ、常にあらゆる物事に注意しているスカウトの目を表しています。



中央の鏡は、古い日本の鏡の形で、自分の姿も相手の姿も正しくうつし、知恵と反省を表すもので、日本のしるしです。



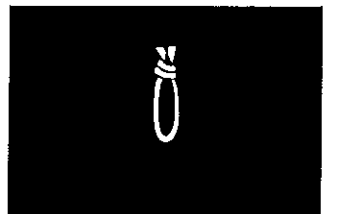
鏡の下のベルトは、世界のスカウトは兄弟であるということを表しています。



帯のような物は、どんなときでも、ほほえんでいるスカウトの口を表していて、スカウトのモットーが書いてあります。



その下のロープは、スカウトのスローガンである「日日の善行」を表しています。



## なわ結び

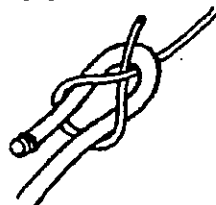
### ① 本結び 「うさぎ」

同じ太さのロープを結び合わせるときに使用します



### ② 一重つぎ 「しか」

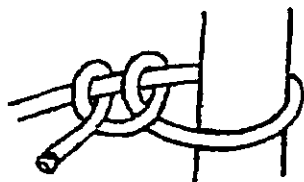
太さのちがうロープを結び合わせるときに使用します



### ③ ふた結び 「しか」

ロープのはしを、杭や丸太のようなものにまきつけるときに使用します。

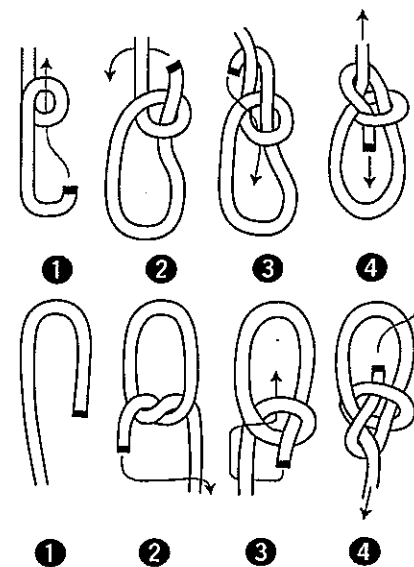
はしが「まき結び」になるように気をつけましょう。



### ④ もやい結び 「しか」

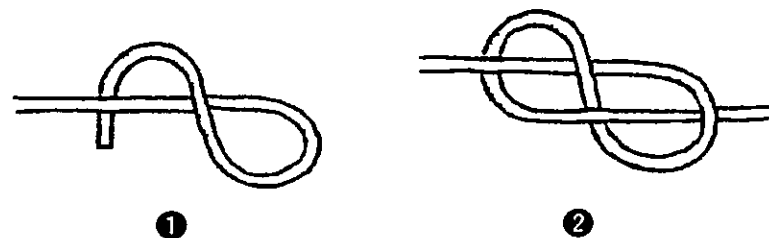
自分のからだにまいて作ることもほかに、物にまきつけずにきめられた大きさの輪を作る方法をおぼえましょう。輪の大きさが変わらないので、人のからだにまいて助けるときや登山に使用します。

※「筋う（船を止めておくという意味）」ときに使うのでこう呼んでいる。



### ⑤ 8の字結び 「うさぎ」

ロープのはしをとめるときに使用します。又、太いロープでは、続けてこの結びを作り、のぼり降りの手がかりにつかうことがあります。



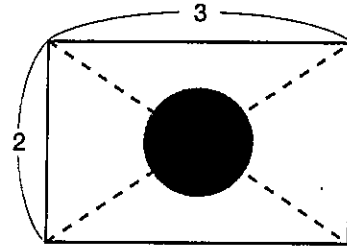




# 日本の国旗

## ☆国旗の様式

日本の国旗は長方形で、たてと横の長さは2:3の割合です。長方形の旗の中心に日の丸があります。日の丸の直径は、長方形のたての長さの5分の3になっています。

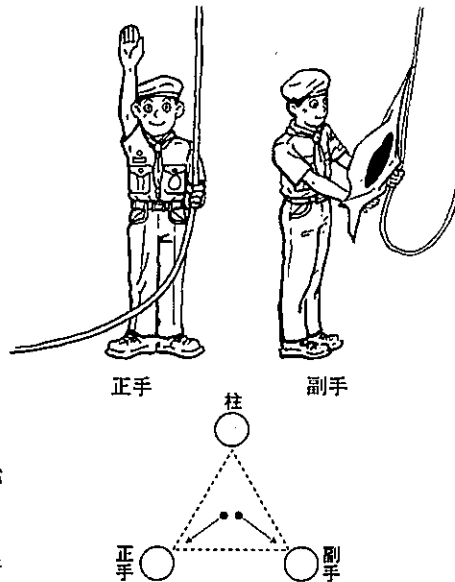


## ☆国旗の意味

白地に赤い丸「日章旗」「日の丸」ともいいます。赤い丸は太陽をかたどり、赤は人の真心を表わし、丸は円満さを示しています。まわりの白地は、平和でよごれない、純潔、清らかさを示しています。

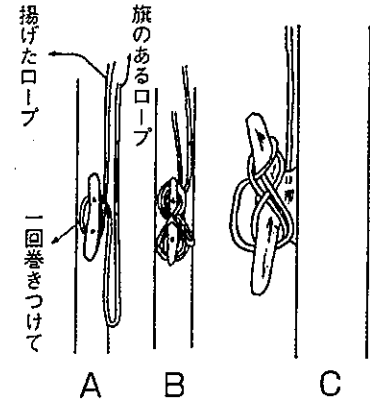
## ☆掲揚柱への国旗の掲揚

- ★掲揚柱に国旗を揚げる時、正手と副手の2人で揚げます。
- ★正手はあげ綱を持ち、副手は国旗の付いた方の綱を持ちます。
- ★副手は旗を開き、左手に綱を持ち、右手で国旗が地面につかないように支えます。
- ★用意が出来たら正手は右手をあげます。
- ★「揚げ」の合図で正手と副手は、ゆっくりとあげ綱を引き、国旗がかん頭につくまで揚げます。
- ★「直れ」の合図で、正手と副手



は掲揚柱まで進み、綱を掲揚柱に巻きます。

★家庭で正しくあげるときは、家の外に向かって右側にとりつけ、さおのいちばん上から、さがらぬようにつけます。



## 健康と安全

### ☆体温

体温は健康状態を知るための基本です。風邪をひいたり、体に炎症があると体温が高くなります。一人ひとりが自分の健康なときの体温を計っておきましょう。だいたいの方は36度前後が平熱だといわれています。

体温計には水銀体温計、電子体温計がありますが、それぞれの使い方も覚えましょう。

### ☆脈拍

心臓の動きを脈拍で知ることができます。手首やのど仏のわきのところに3本の指を軽くあてて、脈拍を計ります。1分間に何脈拍あるか数え、記録しておきましょう。朝、夕、運動した後などで脈拍が違ふこともわかります。



## 上進章課目

1 カブスカウトとして、隊や組の活動に進んで参加する。

年 月 日 サイン

2 「ちかい」と「おきて」について、指導者から話を聞き、理解する。

年 月 日 サイン

3 三指の敬礼・左手の握手・スカウトサインが正しくできる。

年 月 日 サイン

4 ボーイスカウト隊の活動についてボーイスカウト隊指導者から話を聞く。

年 月 日 サイン

5 ボーイスカウト隊の隊集会に参加し、初級章課目の技能を体験する。

年 月 日 サイン

上進章 課目完修

年 月 日 サイン

## カブ隊隊長からのメッセージ

サイン

## ボーイ隊隊長からのメッセージ

サイン

## 上進章ハンドブック

平成13年4月1日 初版発行  
平成21年4月10日 10刷発行

発行 財団法人



**ボーイスカウト日本連盟**

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10  
電 話 0422-31-5161 (代)  
ファクシミリ 0422-31-5162

編集協力：株式会社三省堂書店 印刷：第一企画印刷株式会社

©2001 (財)ボーイスカウト日本連盟 Printed in Japan

ISBN978-4-89394-215-9 C3037 ¥200E

0904創C3NPCB